

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・国語〉

特別研修員 国語 赤石 智美（小学校教諭）

単元名 説得力のある提案書を書こう『明日をつくるわたしたち』（第5学年）全9時間計画

## 単元のねらい

提案書を書く活動を通して、提案書の特徴を理解し、文章全体の構成や書き表し方などに着目して提案書を整えることができるようにする。

## 学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫を取り入れた単元構想

一度書いた文章を読み返し、よりよい文章に修正していく推こうの作業は、児童にとって難しい活動です。本単元では、児童が自分の書いた文章を、よりよい文章に修正していくための読み返しの観点を作っていくことにしました。観点を作る際には、二つの提案書モデルを提示し、説得力のある分かりやすい文章について考えていきます。読み返しの観点が明確になることで、推こうの視点が焦点化され、よりよい文章に修正する意欲が高まっていくことにつなげていきたいと考え構成しました。

過程	主な学習活動	指導のポイント	指導の実際・児童の変容
つかむ(1)	<p><b>1. 単元の課題を把握する。</b></p> <p>○学級アンケートの結果を振り返り、自分たちの学級の課題に気付く。</p> <p>1組をもっとよいクラスにしていきたいな。</p> <p>単元の課題 自分の考えをはっきりさせ、説得力のある提案書を書き、クラスに提案しよう。</p>	<p><b>魅力的な言語活動</b></p> <p>学級アンケートの結果を活用し、自分たちの学級をもっとよいクラスにしていきたいための提案書を書くという課題を設定することで、<b>主体的な活動</b>へとつなげていくことができるようにする。</p>	<p>学級アンケートの結果</p>
追究する(7)	<p><b>2. 課題を追究する。</b></p> <p>○提案したい内容を考える。 ○提案書の構成を確かめ、構成メモを作成する。 ○提案書の書き表し方について考える。 ○モデルを読み、読み返しの観点を考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【提案書A】（一部抜粋）</b> わたしたちの小学校では、いろいろな行事をしているので、ちいきの方に行事に来ていただいたり、わたしたちも、ちいきの行事に参加したりするのはどうだろうか。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【提案書B】（一部抜粋）</b> わたしたちの小学校では、毎年2回、防災訓練を行っている。そこに、ちいきの方にも来ていただき、いっしょに訓練をしてはどうだろうか。また、わたしたちも、ちいきで行われている防災訓練に参加し、小学校以外の場所で何か起きたときにどう対応するかを、ちいきの方といっしょに考えてはどうだろうか。</p> </div> </div> <p><b>【児童から出た読み返しの観点】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①提案内容は詳しく書く</li> <li>②一文は短くする</li> <li>③事実と意見を分けて書く</li> <li>④誤字・脱字を確認する</li> </ol> <p>○読み返しの観点を基に提案書を読み合い、よりよくする。（推こう）</p> <p><b>【読み合いでの児童の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案の内容をもっと詳しくするために、数値を入れるとよい。</li> <li>・一文が長いから、この部分で一度文を切った方が分かりやすい。</li> </ul> <p>○提案書を清書する。</p>	<p><b>モデルの比較</b></p> <p>二つの提案書モデルを比較する活動を通して、<b>文章を簡単に書いたり詳しく書いたり</b>することの必要性に気付けるようにする。</p>	<p>提案書の比較を通して、「詳しく書く」ことが説得力のある文章にするためには必要であることに気付くことができた。また、長い文を提示したことで、文が長いと相手によく伝わらないことにも気付くことができた。</p>
まとめる(1)	<p><b>3. 単元の学習を振り返る。</b></p> <p>○単元全体を振り返り、学んだことをまとめる。 ○本単元で身に付けた力を生かせる場面について意見交流をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>目的に合わせて詳しく書くところを変えていく</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>社会科見学の報告書を書くときには、見てきたことや聞いてきたことを詳しく書こう。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>本を紹介する紹介文を書くときには、おすすめ場面が相手に分かるように書こう。</p> </div> </div>	<p><b>学びの自覚 学んだこと的一般化</b></p> <p>提案書の書き方を他の場面で生かす<b>具体的な場面</b>を想像させていくことで、実践意欲へとつなげていけるようになる。</p>	<p><b>【児童の振り返り】</b> 提案書を書くときには、提案内容を詳しく書くことで、説得力のある文章になるということが分かった。今度、自動車工場へ社会科見学に行くので、提案書の書き方で学んだことを生かして、報告書を書いてみたい。</p>



指導例：説得力のある提案書を書こう『明日をつくるわたしたち』（第5学年第1時）

指導のポイント

1 教材文と出会い、単元の課題を把握する。

○学級アンケートの結果を振り返り、自分たちの学級の課題に気付く。  
 T：1組の学級アンケートの結果から、クラスの課題を考えましょう。  
 S：男女で遊ぶことが少ない。  
 S：学校や授業のルールを守っていない人が多い。  
 T：クラスの課題が見えてきましたね。どうすれば、課題を解決することができるでしょうか。

○提案書のモデルを提示し、自分たちの学級をもっとよいクラスにしていくための提案書を書くことへの意欲をもつ。

T：この文章は提案書という文章です。  
 みなさんも、1組をよりよいクラスにしていくための提案書を書いて、クラスの友達に紹介しましょう。  
 S：どんなことを書けばいいのだろう。

単元の課題 自分の考えをはっきりさせ、説得力のある提案書を書き、クラスに提案しよう。

主体的に活動させる魅力的な単元の課題設定

- 事前にとった学級アンケートの結果を提示し、クラスの課題を考えさせる。
- 「自分たちの学級をもっとよいクラスにしていくための提案書を書く」という課題を設定することを通して、主体的な活動へとつなげていくことができるようにする。

2 本時のめあてをつかむ。

○モデルを見ながら、計画を立てる際のポイントとなる部分を確認する。

めあて 提案書を書くための計画を立て、学習の見通しをもとう。

モデル文の提示

- 提案書モデルを児童に提示し、単元のゴールを示す。
- モデル文は二つ提示し、両方に共通する書き方を考えさせることで、提案書の特徴をつかませるようにする。

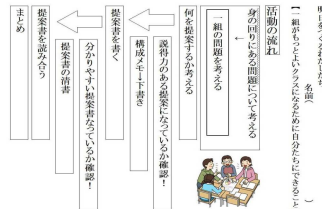
3 単元全体の学習の見通しをもつ。

○二つの提案書モデルを見て、単元のゴールを明確にし、提案書の書き方をつかむ。

T：提案書には、どのようなことが書いてありますか。  
 S：提案内容が書いてある。  
 S：あと、現状や問題点も書いてあって分かりやすい。  
 S：提案内容を短くまとめたものが四角で囲まれて書いてある。

○提案書の特徴から、課題解決に向けて、どのような学習活動が必要か考える。

T：1組をよりよいクラスにしていくための提案書を書いていくためには、どんな学習活動が必要ですか。  
 S：クラスの問題を解決するために、どんなことができるか考えたい。  
 S：説得力のある提案内容を考えたい。  
 T：みんなが出してくれたことをまとめて学習計画を作りましょう。



【学習計画】

学習計画の作成

- 提案書の特徴をつかんだ上で、これからどのような活動をしていけば提案書が書けるようになるのか考えさせ、児童の言葉を基に学習計画を作成していく。
- 単元全体の見通しをもたせることで、学習への興味・関心を高めさせる。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○本時の学習について、分かったことを記述する。

☆読んだ人が「やってみたい」と思うような提案書を書きたくなった。  
 ☆1組がもっとよくなるように自分たちにできることを考え、提案するために、クラスみんなにアンケートをとってみたいと思った。

振り返り

- これから頑張りたいことは何かを記述させることで、意欲的に単元全体の学習に取り組むことができるようにする。

指導例：説得力のある提案書を書こう『明日をつくるわたしたち』（第5学年第6時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○前時で書いた提案書を読み返し、よりよい文章に直す方法を考える時間であることを知る。

T：前の時間に書いた下書きをもっとよい文章に直しましょう。

S：もっとよくするには、どのように直せばよいのだろう。

T：では、よりよくする方法を考えてみましょう。

学習のつながりを意識させる  
学習計画の活用

○第1時で作成した学習計画表を  
活用し、学習のつながりが意識  
できるようにする。

めあて 提案書をよりよくする方法を考え、友達の提案書にアドバイスをしよう。

2 課題を追究するために個で考える。

○二つの提案書モデルの相違点を考え、読み返しの観点を作る。

T：AとBの提案書を比べて、違うところに線を引きましょう。

S：Bは、提案の文章が長いので分かりやすい。

S：提案する内容が詳しく書いてあるから長くなるのだと思う。

S：Bには、数値が入っていたり、具体的なことが書いてあったりする  
ので、提案内容がよく伝わる。

T：目的に応じて詳しく書いたり簡単に書いたりすることが大切です。

S：Aは、一文が長いので分かりにくいと思う。

S：それに、Aの文は長いし、文の中に事実と意見が混じっています。

S：活動報告書を書く勉強で、事実と意見は分けて書くことを勉強し  
たから、分けて書いた方が分かりやすい。

S：平仮名だらけは、読みにくいと思う。

S：習った漢字は使った方がいいし、漢字を正しく使っているか確認  
することも必要だと思う。

T：では、出た意見を「読み返しの観点」としてまとめましょう。

モデルの比較

○二つのモデルを提示し、比較さ  
せる活動を通して、本時のめあ  
てに迫るようにする。

○モデル文作成の際には「文章を  
簡単に書いたり詳しく書いたり  
している部分があること」に児  
童が気付くことができる文章を  
意図的に作成するようにする。

3 友達との交流で、課題を追究するための考えを確認し合い、新たな  
気付きをもつ。

○交流では、目的に応じて提案書を整えていくことに視点をのいたア  
ドバイスをできるようにする。

T：読み返しの観点を基に友達の提案書にアドバイスをしましょう。

S：提案する内容が読む人によく伝わるように、提案のところをもっ  
と詳しく書いた方がよいと思うよ。

S：一文が長いから、短くすると分かりやすくなってよいと思うよ。

S：提案する内容が詳しく書いてあるから「実際にやってみよう」と  
いう気持ちになるね。

効果的な交流活動の工夫

○友達の提案書を読む際には、  
読み返しの観点に合わせて、よい  
ところ、直した方がよいところ  
に線を引きながら読み進めるよ  
うに伝える。

○交流の場面では、相手によく伝  
わる書き表し方になっているか、  
提案内容が詳しく書かれている  
かを中心にアドバイスをさせる  
ようにする。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○本時の学習について、分かったことを記述する。

☆目的に合わせて、簡単に書いたり詳しく書いたりすることが大切だ  
と分かった。

☆友達に教えてもらって、直すところが分かったので、次の時間に生  
かしたい。

変容に気付かせる振り返り

○交流を通して何を学んだのかを  
記述させ、学んだことを次時に  
生かそうと意欲を高めることが  
できるようにする。

指導のポイント

指導例：説得力のある提案書を書こう『明日をつくるわたしたち』（第5学年第9時）

1 本時のめあてをつかむ。

○単元の課題を解決するために、今までの学習を振り返り、提案書の書き方についてまとめていくことを知る。

めあて 単元全体を振り返り、提案書の書き方についてまとめよう。

2 単元で学んだことを確認する。

○完成した提案書を読み直し、提案する文章を書くときに気を付けたことを思い出す。

S：提案する文章を書くときには、提案の内容を詳しく書くと相手によく伝わるのが分かった。

S：なぜ、その提案をする必要があるのかが相手に伝わるように、現状や問題点も書くとよいことが分かった。

S：構成メモを使い、構成も考えた。

S：構成を考えるとときには、現状や問題点を先に書き、次に提案内容を書くようにした。

3 学んだことを一般化して理解する。

○単元を通して学んだ提案書の書き方が、他の場面でどのように生かせるか具体的なイメージをもつ。

T：今回は、どんな文章の書き方の勉強をしましたか？

S：提案書の書き方。

T：文章には、提案書以外にも、報告書や紹介文、推薦文などもあります。

T：提案書の特徴は何だろう？

S：提案内容が詳しく書いてあるところ。

T：文章の目的に合わせて詳しく書くことが大切ですね。

T：今回の学習が、生かせる場面はあるかな？

S：総合で環境問題について調べたことを提案書にまとめるときに、今回の勉強を生かせるようにしていきたい。

T：今回の学習が、生かせる場面が見つかりましたね。

【児童の提案書】（例）

1組をもっとよいクラスにするために、週に1、2回クラスレクをするのはどうだろうか。レクは、レク係を中心に行い、内容は、アンケートで多かったドッジボールがよいと思う。みんなで楽しくレクをすれば、男女が仲良くなり、今よりもっとよいクラスになると思うので、このことを提案する。

【提案内容が詳しく書かれている提案書】

- ①週に1、2回クラスレク
  - …具体的な数値
- ②アンケートで多かったドッジボール
  - …アンケート結果の活用
- ③レクをすれば、男女が仲良くなる
  - …提案内容の効果

4 単元全体の振り返りをする。

○単元全体の学習について分かったことを記述する。

☆一文を短くしたり、提案する内容を詳しく書いたりすると、説得力のある提案書になることが分かった。

☆問題点と提案が繋がっていると説得力のある提案書になることが分かった。

☆自動車工場の見学で見てきたことを報告する報告書を書くときには、提案書で学んだことを生かして報告するところを詳しく書くようにすればよいということが分かった。

学びを実感させるための工夫

○提案書の下書きと清書を比較させ、本単元で学んだことがどのように生かされたのかを振り返ることで、一人一人が学びを自覚できるようにする。

○提案書を書く過程を振り返り、単元を通して身に付けたことを実感させ、成長や変容を自覚させるようにする。

学んだことを一般化させるための手立て

○提案書の書き方が、他の場面でも生かせるように、報告書や紹介文、推薦文などの具体的な文章を想像させ、詳しく書く部分と簡単に書く部分を考えさせる。

○個で考えた意見を全体で共有することで、学んだことが他でも活用できることを実感させることで、実践意欲へとつなげることができるようにする。

実践意欲につながる振り返り

○一般化を踏まえて、単元全体を通して学んだことや感じたことを自分の言葉でまとめ、学びや成長を実感させるようにする。

# 国語科学習指導案

令和元年10月 第5学年 指導者 赤石 智美

I 単元名 説得力のある提案書を書こう『明日をつくるわたしたち』

## II 学習指導要領上の位置付け

(1) 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

【知識及び技能(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項力】

(2) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

【思考力、判断力、表現力等 B書くことオ】

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚し、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。

【学びに向かう力、人間性等】

## III 目 標

学校生活の中にある問題点を考え、よりよい学級にしていくための提案書を書く活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。

(1) 文章の組立てや論の進め方を考え、提案書の特徴について理解すること。

(知識及び技能)

(2) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、提案書を整えること。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。

(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／9）

- ねらい 提案書を作成する学習計画を立てる活動を通して、学習課題への意欲がもてるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 教材文と出合い、単元の課題を把握する。（10分）	○学級アンケートの結果を振り返らせ、自分たちの学級の課題に気付かせる。 ○提案書のモデルを提示し、自分たちの学級をもっとよいクラスにしていくための提案書を書くことへの意欲をもたせる。		
単元の課題 自分の考えをはっきりさせ、説得力のある提案書を書き、クラスに提案しよう。			
2 本時のめあてをつかむ。（2分）	○本時は、提案書を書くために必要な活動を考え、学習計画を立てていくことを伝える。		
めあて 提案書を書くための計画を立て、学習の見通しをもとう。			
3 単元全体の学習の見通しをもつ。（28分）	○二つの提案書モデルを提示し、単元のゴールを明確にさせ、提案書の書き方をつかませる。 ○提案書の特徴から、課題解決に向けて、どのような学習活動が必要か考えさせる。		
提案書の書き方を知り、自分たちの学級をもっとよくしていくための提案書を書くことへの意欲をもっている。 <ワークシート・発言（3）>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）	○本時の学習について、分かったことを記述させる。 ☆読んだ人が「やってみたい」と思うような提案書を書きたくなった。 ☆1組がもっとよくなるように自分たちにできることを考え、提案するために、クラスのみんなにアンケートをとってみたいと思った。		

## V 本時の展開 (6/9)

- 1 ねらい 提案書を読み返す際の観点を考える活動を通して、提案書のよい点や改善点に着目できるようにする。
- 2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<b>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</b> ○前時で書いた提案書を読み返し、よりよい文章に直す方法を考える時間であることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 提案書をよりよくする方法を考え、友達の提案書にアドバイスをしよう。</div>			
<b>2 課題を追究するために個で考える。(10分)</b> ○1学期に学習した「活動報告書」を想起させ、書くことについての既習事項を確認する。 ○二つの提案書モデルの相違点を考え、課題の解決に迫らせる。 ○読み返しの観点を作らせる。			
<b>3 友達との交流で、課題を追究するための考えを確認し合い、新たな気付きをもつ。(25分)</b> ○友達の提案書のよい点と改善点について、線を引きながら読むように伝える。 ○自分の意見をもった上で交流ができるように、個で考える時間を確保する。 ○交流では、目的に応じて提案書を整えていくことに視点をおいたアドバイスができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;">提案書がよりよくなるように、読み返しの観点を基に友達の提案書を読み、よい点と改善点に着目し、アドバイスをしている。 <span style="float: right;">&lt;ワークシート・発言 (2) &gt;</span></div>			
<b>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</b> ○本時の学習について、分かったことを記述させる。 ☆よりよい提案書にするための方法が分かった。 ☆目的に合わせて、簡単に書いたり詳しく書いたりすることが大切だと分かった。 ☆友達に教えてもらって、直すところが分かったので、次の時間に生かしたい。			

## V 本時の展開（9／9）

- ねらい 単元全体を振り返る活動を通して、今後の生活にどのように生かしていきたいか、自分の言葉でまとめることができるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○単元の課題を解決するために、今までの学習を振り返り、提案書の書き方についてまとめることを伝える。		
めあて 単元全体を振り返り、提案書の書き方についてまとめよう。			
2 単元で学んだことを確認する。（15分）	○完成した提案書を読み直し、提案する文章を書くときに気を付けたことを思い出させる。 ○提案書を書くことのよさについて触れ、今回の学習が今後の様々な場面において活用できることに気付かせる。		
提案書を書くときに大切なことについて記述している。 <ノト・発言(1)(2)>			
3 学んだことを一般化して理解する。（15分）	○単元を通して学んだ提案書の書き方が、他の場面でどのように生かせるか具体的なイメージをもたせる。 ○個の考えを交流させることで、学びの深まりを実感できるようにする。		
4 単元全体の振り返りをする。（10分）	○単元全体の学習について、分かったことを記述させる。 ☆一文を短くしたり、提案する内容を詳しく書いたりすると、説得力のある提案書になることが分かった。 ☆問題点と提案がつながっていると説得力のある提案書になることが分かった。 ☆自動車工場の見学で見てきたことを報告する報告書を書くときには、提案書で学んだことを生かして報告するところを詳しく書くようにすればよいということが分かった。		



<p>目標</p>	<p>学校生活の中にある問題点を考え、よりよい学級にしていくための提案書を書く活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。                  (1) 文章の組立てや論の進め方を考え、提案書の特徴について理解すること。 (知識及び技能)                  (2) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、提案書を整えること。 (思考力、判断力、表現力等)                  (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 提案書の目的を考えることを通して、目的に合わせた文章の構成について理解することができる。                  【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ】                  (2) 分かりやすい提案書になる表現の効果について、確かめたり工夫したりすることができる。                  【B書くことオ】                  (3) 文章全体の構成や書き表し方を進んで考え、今までの学習を生かして、提案書を書こうとしている。                  【国語への関心・意欲・態度】</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り (意識)</p>	<p>◇評価項目 ＜方法 (観点)＞</p>
<p>つかむ</p>	<p>1</p> <p>○提案書を作成する学習計画を立てる活動を通して、学習課題への意欲がもてるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 自分の考えをはっきりさせ、説得力のある提案書を書き、クラスに提案しよう。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 提案書を書くための計画を立て、学習の見通しをもとう。             </div>	<p>☆読んだ人が「やってみよう」と思うような提案書を書きたくなった。                  ☆1組がもっとよくなるように自分たちにできることを考え、提案するために、クラスみんなにアンケートをとってみたいと思った。</p>	<p>◇提案書の書き方を知り、自分たちの学級をもっとよくしていくための提案書を書くことへの意欲をもっている。                  ＜ワークシート・発言 (3)＞</p>
<p>追究する</p>	<p>1</p> <p>○取り上げたい内容について考え、情報を集める活動を通して、学級の問題を解決するための提案内容を記述できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 1組がもっとよいクラスになる提案内容を考えよう。             </div>	<p>☆アンケートの結果から提案を考えることができた。                  ☆1組の問題の解決につながる提案を考えることができた。                  ☆この提案で、1組がよいクラスになるとよいな。</p>	<p>◇学級の問題を解決するための提案内容を考え、記述したり発言したりしている。                  ＜ワークシート・発言 (1)＞</p>
<p></p>	<p>1</p> <p>○提案する内容と提案理由を話し合う活動を通して、収集した知識や情報を、提案内容と理由に整理し、記述できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 提案内容と提案理由が問題に合っているかグループで話し合おう。             </div>	<p>☆友達の発表を聞き、クラスの問題と提案が合っているか考えることができた。                  ☆内容と理由に整理すると、学級の問題に提案が合っているか、分かりやすくなった。</p>	<p>◇収集した知識や情報を、提案内容と理由に整理し、発言したり記述したりしている。                  ＜ワークシート・発言 (1)＞</p>
<p></p>	<p>1</p> <p>○構成メモを作成する活動を通して、提案書全体の構成を考えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 提案書の構成を確かめ、構成メモを作ろう。             </div>	<p>☆提案内容の要約、提案するきっかけ、提案の順番で書くことが分かった。                  ☆提案の前に提案するきっかけを入れることで、なぜ提案をする必要があるのかが分かるのだと思った。</p>	<p>◇提案書の構成を理解し、構成メモを考えている。                  ＜ワークシート・発言 (1)＞</p>
<p></p>	<p>1</p> <p>○構成メモを活用する活動を通して、全体のつながりを意識した文章を書くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 構成メモを基に、提案書の下書きをしよう。             </div>	<p>☆構成メモを使って書くことができた。                  ☆問題の解決のための提案書になっているか考えながら書いた。</p>	<p>◇構成メモを活用して、全体のつながりを意識して提案書を書いている。                  ＜ワークシート・発言 (1)＞</p>
<p></p>	<p>1</p> <p>○提案書を読み返す際の観点を考える活動を通して、提案書のよい点や改善点に着目できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                 提案書をよりよくする方法を考え、友達の提案書にアドバイスをしよう。             </div>	<p>☆よりよい提案書にするための方法が分かった。                  ☆目的に合わせて、簡単に書いたり詳しく書いたりすることが大切だと分かった。                  ☆友達に教えてもらって、直すところが分かったので、次の時間に生かしたい。</p>	<p>◇提案書がよりよくなるように、読み返しの観点を基に友達の提案書を読み、よい点と改善点に着目し、アドバイスをしている。                  ＜ワークシート・発言 (2)＞</p>
<p></p>	<p>1</p> <p>○提案書を読み返し清書する活動を通して、読み返しの観点を基に文章を整えることができるようにする。</p>	<p>☆下書きの提案書より、分かりやすくなったと思う。                  ☆読み返しの観点を確認しながら清書をすることができ</p>	<p>◇表現を見直し、分かりやすい表現になるように文章を整えながら提案書を清書している。</p>

		読み返した下書きを清書し、提案書を仕上げよう。	た。	<ワークシート・発言(2)>
	1	○提案書を読み合う活動を通して、文章全体の構成や書き表し方などに着目し、よいところを見付けることができるようにする。  提案書を読み合い、感想を伝え合おう。	☆友達の提案書を読んで、クラスみんなでやってみたいと思った。 ☆提案内容が詳しく書いてあって分かりやすかった。	◇友達の提案書を読み、構成や書き表し方などに着目し、よいところを見付けている。 <ワークシート・発言(2)>
まとめ	1	○単元全体を振り返る活動を通して、今後の生活にどのように生かしていきたいか、自分の言葉でまとめることができるようにする。  単元全体を振り返り、提案書の書き方についてまとめよう。	☆一文を短くしたり、提案する内容を詳しく書いたりすると、説得力のある提案書になることが分かった。 ☆問題点と提案が繋がっていると説得力のある提案書になることが分かった。 ☆自動車工場の見学で見てきたことを報告する提案書を書くときには、提案書で学んだことを生かして報告するところを詳しく書くようにすればよいということが分かった。	◇提案書を書くときに大切なことについて記述している。 <ノート・発言(1)(2)>